

新見市大佐「大日高原・風の聖域」に関するサウンディング型市場調査 結果の公表

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

1 サウンディング実施の経緯

新見市大佐「大日高原・風の聖域」は、観光施設をメインに地域振興を推進してきましたが、経年とともに利用者数の減少が続き、老朽化による施設の更新・修繕を必要とする時期を迎えています。大日高原の魅力をアップさせるため、市では様々な検討を進めています。

本調査は、既存施設活用と新規事業の市場性と収益性の可能性を探り、民間事業者の専門的な知識や経験、ノウハウなどを活かした効果的な提案を広く求めるため、以下のとおりサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

2 サウンディングの実施スケジュール

令和 6 年 9 月 2 日	サウンディング実施要領の公表
令和 6 年 9 月 2 日～令和 6 年 1 0 月 3 1 日	サウンディングの実施
令和 6 年 1 1 月 1 5 日	サウンディング結果の公表

3 サウンディングの参加者

参加事業者数：1 事業者（事業企画業）
形 態：個別対話（対面・非公開）

4 サウンディング結果の概要

対話項目	主な意見（概要）
宿泊所・休憩所について	・提供する内容次第で市場性はあると思うが、官民連携・受益者負担の仕組みをしっかりと作った方がいいと考える。 ・既存の類似施設がすぐそばにあるため、似通ったものだと単なる母数の奪い合いになり、最悪の場合既存の類似施設ともども倒れる可能性が高いと思われる。 ・眺望や四季豊かな環境は素晴らしいが、強い事業が必要だと感じた。
市民の森について	・エクストリームスポーツは人気ではあるが、最近下火傾向にある。結局すぐやめてしまうようであれば逆に負のイメージがつきかねない。ケガなどのリスクもあるため、適正に検討評価すべきだと思う。
その他、区域全体について	・既存施設の稼働率が低いため、負のイメージを持たれやすいと感じた。まずは既存施設から手をつけたらどうか。 ・観光コンテンツとして、どういった展望を目指すのかのゴールが見えないというのが率直なイメージである。アウトドアに絞るなら、アウトドアファンに訴えかけるコンテンツに集中した方がよい。その際は、近隣自治体にないようなものを目指すべき。 ・持続可能な運営方法として、一社ではなく複数での管理体制

	により、明確な管理領域の適正化と評価の仕組みが必要ではないか。現行の管理体制の見直しを検討してみては。 ・観光事業以外にも目を向けて、若者が帰ってきやすい環境づくり、地元の人にも市外の人にも使ってもらえるようなものはどうか。 ・ドロップインのコワーキングスペースなどに利用する場合は、一から設備投資するのはハードルが高いこともあり、遊休施設の活用として有効と思われる。
--	--

5 サウンディング結果を踏まえた 今後の方針

今回のサウンディング型市場調査では、今後「大日高原・風の聖域」の観光客数増加に繋がる事業展開に向け、民間事業者の皆さまから既存施設の活用と新規事業案などについて意見交換をさせていただきました。

その結果、本検討内容は好条件の自然環境は整っているものの、既存施設の整理として管理領域の適正化が必要と思われること、新規事業の市場性と収益性についてはインパクト次第であることなどのご意見をいただきました。また、他地域での新規事業の動向などに関しても様々なご意見をいただくことができました。

今後は、今回の調査結果を踏まえ、施設の管理領域の整理と合わせ具体的な新規事業の検討を進めてまいります。

■「大日高原・風の聖域」に関する問い合わせ先

新見市大佐支局地域振興課（電話 0867-98-2111）

■サウンディング調査に関する問い合わせ先

新見市総務部行政改革推進課（電話 0867-72-7760）